

# 文化

## モノが語る歴史と技術



時計台が目を引く外観。増築された部分を取り払い、壁の色や看板は当時のまま

活字棚が並び、活版印刷機が置かれた1階部分

2月に大日本印刷が一般公開した「市谷の本と活字館」(東京都新宿区)は、大正時代に建てられた建物を復元し、活字の棚が並ぶ印刷工場の風景を再現した。活版印刷機は昭和初期に使われていたものを動かしている。

前身の会社設立から145年の歴史を持つ同社が、原点である活版印刷を伝える狙いは、

「取材に訪れたのは閉館日だったが、館内には展示が見える一帯があった。社内内覧だという。20〜30代の社員には活版印刷を知らない人も多い。会社が生まれた創業の技術を理解してほしい」と大日本印刷の広報・リーディング・オフィス室長・台運用グループリーダーの佐々木愛さんは話す。同社の前身の秀英舎が

を再現しながら、活版印刷の二連の工程を解説する。活版印刷とは、ハンコを押すように、並べた活字にインクを乗せ、紙に移す方法だ。工程は細かく分かれる。活字を鋳造するため鉛合金を流し込む「母型」の彫刻、原稿通りに活字を棚から拾う「文選」、活字をページに組む「組字」、文字の濃淡調整などそれぞれ専門の職人が担った。手作業ながら効率化された、大量印刷を実現していた。

と、今クリック一つでネット発注するに比べて、幾重にも人の手を介していたと分かる。なんでもかまの重みを感じてきた。館はコロナ禍で予約制をとるが、無料で一般に開かれている。佐々木さんは「活字館を託す。モノは作り手が分からなければ、大事にしなければならぬ。書写に並ぶ本がどのように作られているのか、今はブックボックスだが、ここでは印刷の素朴なプロセスが丸見えだから、本を好きになるきっかけとなる。」

近年、活版印刷は人気が高まっている。紙に生じる凹凸や文字のなじみが味わいとして好まれ、名刺やカードが作られている。デジタルデータから作った版を用いる方法で、活字を置く方法で、活字を置く方法から活版の技術を残すためにも、職人を育てるうえで本を作る程度の仕事量が必要になる」と佐々木さん。

「既成印刷の段階まで来てはいるが、遊覧さんは一印刷会社としては35点の出来。80点を目標」と調整に余念がない。役員を終えた生産設備は廃棄されるのが常だが、保管の選択が温故知新の道を開いた。重要記録(アーカイブ)は文書や写真ばかりではない。モノこそが技術と産業を語る。(黒崎 亜弓 シャーナリスト)

## 賢人の目

国際政治アナリスト 菅原 出



米・イラン核協議の行方が不透明になってきた。

## 米イラン再び緊張関係に

核協議はこれまで、4月6日の第1回から6月20日まで6回開催された。この最後の協議が終了した時点で、各国代表者は交渉が最終段階に入っていることを示唆し、次回協議での合意達成も可能との見方が出ていた。

しかしその後、イランは態度を硬化させ、7回目の協議

分かった。各国は決断を下す時だ」と述べ、7回目の協議ではなく、もう決定を下す時だ」と一方的に主張し始めた。またイランでは、イランが支援しているシリア派民兵勢力による米軍基地に対する攻撃が激化し、軍事的な緊張が高まっている。

イランは、核協議における

またイランは、核協議での揺さぶりや併せて、イランで米軍基地への無人機やロケット弾による攻撃を激化させることで、バイデン政権に対する圧力をさらに強めようとしている可能性がある。

この背景には、核合意後をめぐる両国の意思の違ひがある。

米国の核合意復活によりイランの核開発を一定レベルまで制限することを目指しているが、イランの目標は、核合意復活による経済制裁解除である。また、米国は核合意復活後、イランのミサイル開発やテロ支援の問題など、核問題以外の協議に進むことを狙っている。

一方のイランは、核合意復活で経済制裁を解除させたら最後、それ以外の新たな交渉に応じるつもりはない。米国は、核合意復活を新たな交渉のためのスタートと考えているのに対し、イラン側は核合意復活をゴールと考える。イランは、核合意復活が必要である。

## 私の休日

### ブラックバス釣り

エネリア東部沼津店 沼津営業グループ 永松 洋介さん

沼津生まれの沼津育ち。海釣りが趣味だった父に釣りの楽しさを教わった。ブラックバス釣りを始めたのは小学1年生の頃。今は月3回程度、河口湖でポートフィッシングをしている。



沼津生まれの沼津育ち。海釣りが趣味だった父に釣りの楽しさを教わった。ブラックバス釣りを始めたのは小学1年生の頃。今は月3回程度、河口湖でポートフィッシングをしている。

河口湖までは車で1時間ほど。湖近くの駐艇場に保管してあるボートを車に連結して湖まで運ぶ。夕方までほぼポートの上で過ごすのだが、広い湖の上にいると自然の中に入り込んでいくような感覚がある。仕掛けを工夫し、五感を駆使して上手く釣り上げられたときの気分は最高だ。奥深い遊びだと思ふ。

河口湖ではシーズン中数多くの大会が開かれ、私も毎年いくつかの大会に参加する。2013年の全日本バスプロ選手権大会では、2日間で総重量5782gを釣り上げて優勝。運が味方してくれた忘れられない大会だ。

ガス業界に釣りファンは多いと思うが未経験の方にはぜひおすすめしたい。自然の中で夢中になれる時間は格別ですよ。

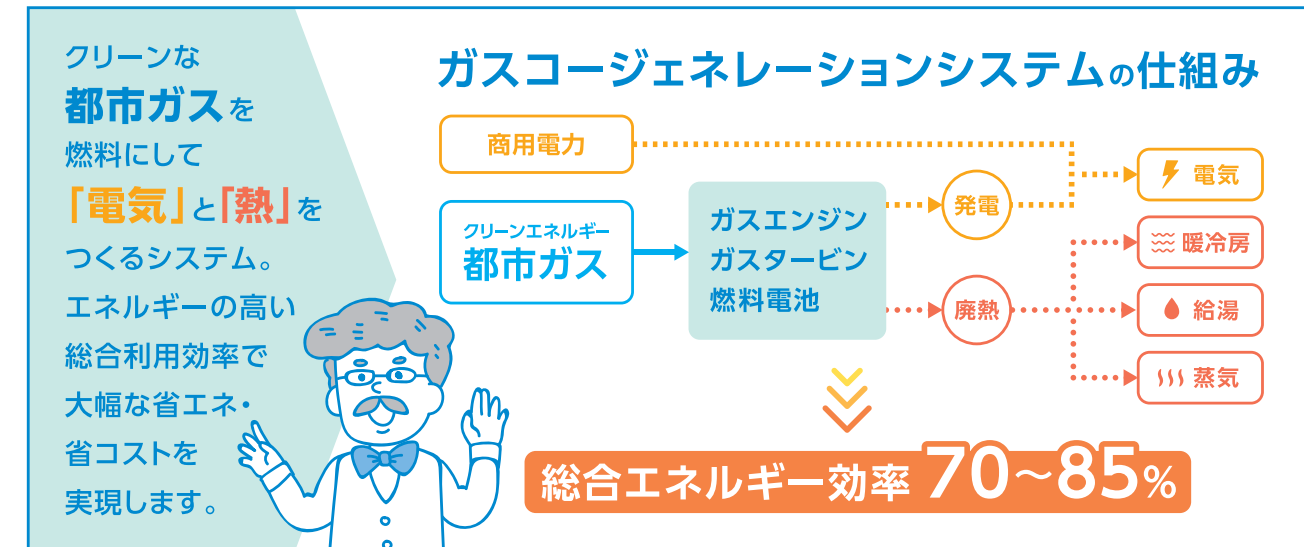
# ガスコージェネレーションシステム

が、スマート!

一般社団法人 日本ガス協会

https://www.gas.or.jp/

「ガスコージェネレーションシステム」は、環境にやさしい都市ガスを燃料として必要な場所で「電気」を作り、同時に発生する「廃熱」を冷房・暖房・給湯・蒸気の有効利用するシステムです。優れた省エネ性・環境性、災害時に対する強靱性により、スマートエネルギーネットワークの中核としても期待されています。



### ガスコージェネレーションシステムの導入メリット

- 1 省エネ・省コスト、環境保全を実現**  
発電時の廃熱を活用するので、高い総合エネルギー効率を実現。商用電力の使用が減りエネルギーコストを押さえることが可能です。またクリーンな都市ガスを燃料とするため、CO<sub>2</sub>排出量を削減し、環境保全にも貢献します。
- 2 電力のピークカットに貢献**  
夏期など電力最大需要時に稼働させることによりピークを抑制し、節電や電力負荷平準化に貢献します。
- 3 再生エネルギーを補完し、災害時でも安心**  
太陽光・風力発電など、出力が不安定な再生可能エネルギーを補完し、出力安定に寄ります。また、停電対応型の導入により、非常時のBCP(事業継続計画)が可能となり電源セキュリティの向上が図れます。